



## 時代基準とともにすること

令和7年12月17日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

時代への参加は、唯一企業を可能とするものである。今日社会変化と人々の意識の変化は、大きな変化を過去から未来に与えるものです。

それら現実に対して企業がその時代における要求を自己とすることは、唯一未来への選択であり、それらが新たな基準を有しその要求を与える中、企業はその新たな自己の確立を求められるものであると考えます。

これらは企業の隆盛は、時代に到達できるかであるという判断は正しいと考えます。これらは正しい経営への視点であり、正しい行動を与える基盤であると考えます。

これらは企業経営の基準を明確に時代とともにすることにおいて、その健全な企業経営の実現が可能とできるものであると考えます。

これらは現実が有する絶対的な厳しさが存在し、それらが必要性と要求を与えるものであり、それらの達成を企業において実現することが、唯一企業経営の実現を与えるものであると考えます。

これらは企業の健全性の育成は、時代の要求性をクリアし企業の確立を得ることであり、それらが経営の使命あるものです。

これら時代というフィルターは、正しいものであり、社会がその考査を経て、時代は常にその頂点に存在するものです。

そのため時代への参加は常に優れるものであり、企業は必ずそれら現実を自己とする必要性があるものです。

これらは理解と行動において時代への到達を求め、企業経営の実現を得ることは、未来という新たな可能性への参加を実現するものです。